



“QUEST FAILED”

～純潔の爆乳聖女、レズサキュバスの触手快樂責めに堕つ～

ここは
とある町の教会——……

……
ジゼル

それでは
今回も頼みましたよ

はい

わたくしにお任せください

下級サキュバスね……

WANTED



ONLY DEAD
SUCCUBUS
\$200,000

最近サキュバスの被害は
聞いていないのだけれど……

コッ...



こんばんは〜♪

あら、
シエルじゃない

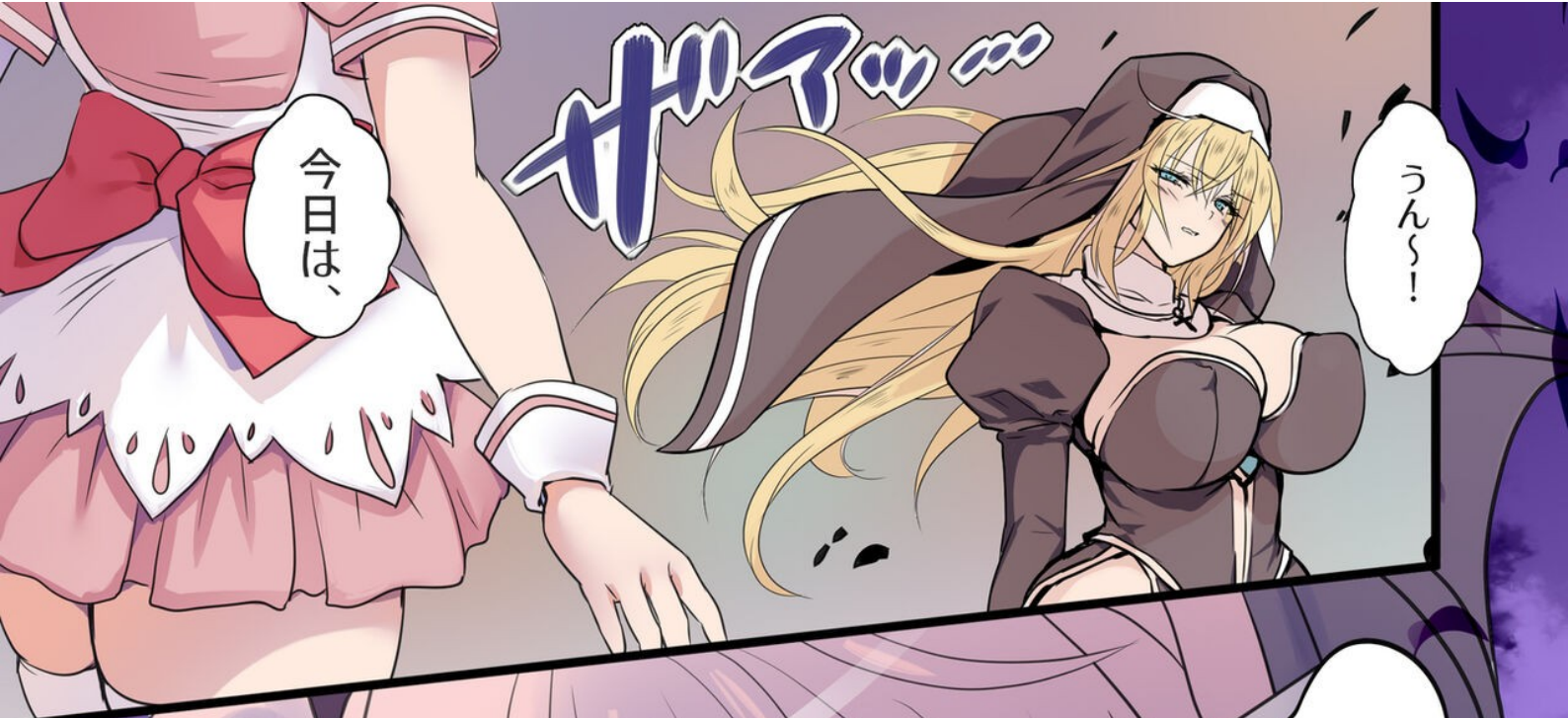
今日もこれから配達なの？
遅くまで大変ね

彼女は、数か月前から
近所のケーキ屋で働いている

うん！
でも毎日楽しいよ♪

見習いパティシエだ





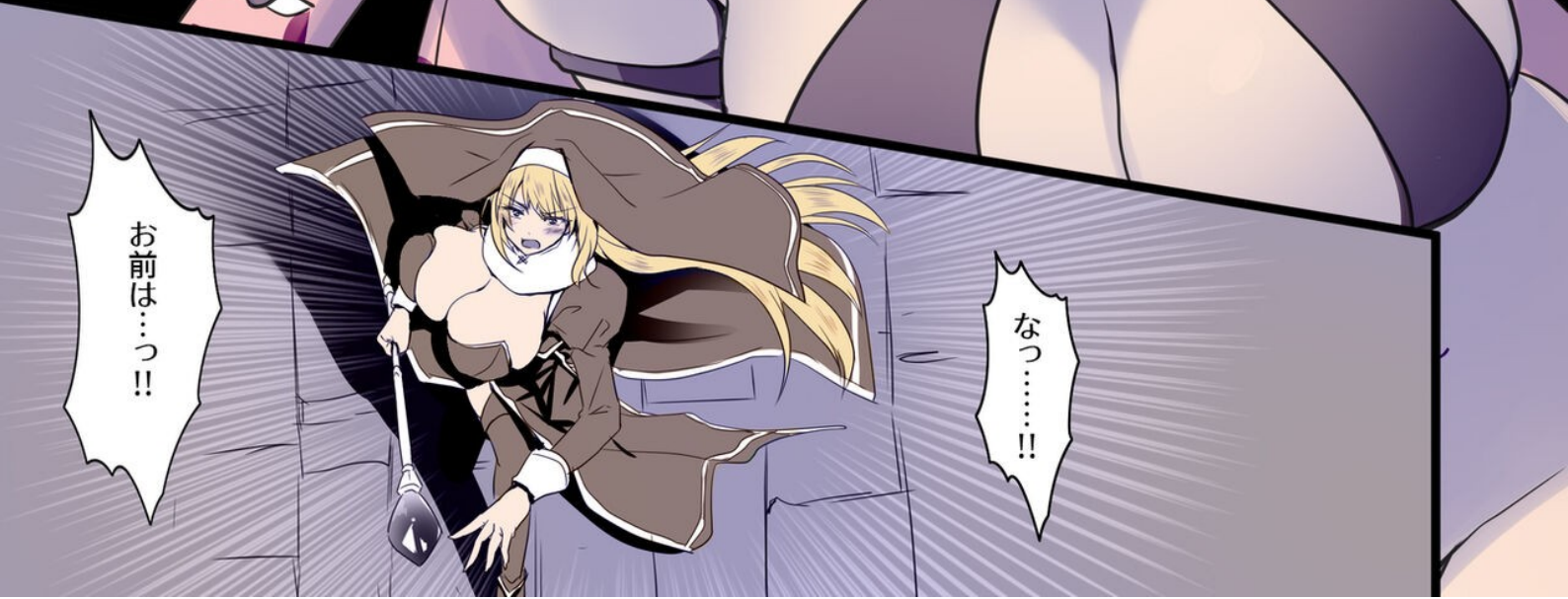
今日は、

うん！

ザッ



とらつても大事な
お客さまのところへ行くんだ♪



お前は…っ!!

なっ……!!

んっ……

んっ……

んっ……

んっ……



いきなりでゴメンねっ！

聖女のお姉さんっ♪

なっ………!!



ふふっ♪
あたし、そんな顔されるの
だ〜いすき♥

……シエル、あなた……!!

やられたっ……!!
シエルがサキュバスだったなんて!!



シエル、残念だけど
あなたは討伐対象よ！
観念なさい……！！

むせ返りそうになるほどの、
甘いお菓子のような香りに、この粘液――
おそろく強い催淫作用があるわ……
だからケーキ屋に……？



こんなの、わたくしの聖力で……！





きゃはははっ♪

お姉さんありがとう♡

あたしの触手ちゃんに
ご飯くれるなんて、感激っ♪

わたくしの聖力が効かない……!!



だめ、全然動けない……!!
下級サキュバスのくせに、
なんて力なの……!!

なんとか
この拘束を解く方法はっ……!!

あゝっ！

お姉さん、今あたしのこと、
下級サキユバスのくせについて思ったでしょう？

……読まれてるっ！！

うんうんっ♪

下級……そうだよねえ♥

あたし、この地域が担当なんだけど、

ぜんぜん仕事してないしい♥

ほら、あたしの仕事ってアレでしょ？

夜な夜な人間のオスを……ってやつう？

でもねえっ、あたしも、この触手ちゃんもっ、
穢れない女の子♥にしか興味がないんだから、
仕方ないよねっ♥

つよっって噂の聖女さんなんてえ……

ほっっつと、もうたまんないのっっつ！！

★シエル★
下級サキュバス
LV.251

だ・か・らあゝ♡
お姉さんが♡あたしを倒すなんてっ
できっこないってこと♡♡♡♡♡

なっ………！
なに馬鹿なことを………っ

†ジゼル†
聖女 LV.81



だめっ……!!
頭が焼けそうに熱いつ!!

イってはまだめ
イってしまったら
わたくしは……!!





はあっ!
はあ……っ!



きゃはははっ♡

お姉さんの聖力で
触手ちゃんが喜んでるっ♡♡♡



あたしたち、まだまだ
おなかすいてるからあゝ♡

……覚悟してね♡♡♡





やめっ……!!
やめなさい……っつ!!

だあゝめ♡
聖力ぜんぜん
たりなあゝい♡

なによ
なんなのよ……っ!!
わたくしが……
下級サキュバスになんて
ありえないっ……!!

Gn!!
Gn!!
Gn!!

Gn!!

Gn!!
Gn!!
Gn!!

Gn!!
Gn!!
Gn!!



こんなの.....!
耐えて.....耐えてやる.....っ!!
耐え.....っつ!!

くっ.....!
んぐんぐんぐんぐん!!





処女を失うと
聖力がなくなるって
いうじゃない？

ほらっ♡
たしか聖女さんって♡

んあああつ!!
なにすつ...!!

ぐわわわ

だから……安心してね、聖女さん♡
聖女さんの大事なモノは……♡
ぜっぜっぜったいに守ってあげるから♡♡♡♡♡

うそっ……これ……っ!!
吸われ……っ!!
拘束が強くて
腰が全然動かせない……っ!!
また……またイカされてしまうっっ!!





つつつつ...!!
んうううううううううううう!!!!

こんなの
こんなのつつ
耐えられない——!!!

カッ!!

ほらっ♡もつとイって♡
もつと♡もつと♡♡♡♡

んうううううううううう!!!!
あっ! ああっ!!
いっ!! んん んんううう!!
くうう うう うう...っ!!!!!!

カッ!!



そろそろ
イイかなあ〜っ♡

なにを……
なにをするつもりなのっ!?

ブルブル……

ほらあ〜っ♡
そんなに睨まないで
くださいよあ〜♡♡♡



んぐっぐっぐっぐっ!!

安心してください聖女さん♡
こんな太さじゃ処女膜は無傷ですから♡♡

ねえ聖女さん♡聖女さんってえ♡
よく天に祈ってるイメージですけどお……♡

聖女さんは……♡
天国、って行ったことありますかあ？
……ありませんよね♡

あんなの……♡
存在するわけがないでしょう？
愚かな人間が作った、
都合のいい想像上の産物……♡

……でもね♡
あたしが聖女さんに……♡
特別に見せてあげます♡♡♡

こんな……っ 絶対ヤバいつ……!!
かきまわされて
頭ぐちゃぐちゃになる……っ!!







いったのに続けて…っっ!!
下級サキュバスなら
充分な量を吸われたのにつ……!!
なんで止めないのよっ…!!

…っ!!!!
もうっ……!!
もう終わりよっ!!
もう聖力はたくさん
吸ったでしょう!?

ビュッ
ビュッ

ビュッ
ビュッ



ほらほらっ♡ここ♡
こんな奥の方……♡
触られるの初めてだよ♡
聖女さん♡♡♡♡♡

な……
なにこれ
だめだめ
これだめっ!!!!!!







それじゃ
ごちそうさまあ♡

派手に飛んじやったね♡
聖女さんっ♡♡♡

またよろしくね♡



『……んっ…… あ、あは——……』

近所にある公園のベンチで、聖女ジゼルは目覚めた。
着衣の乱れもない。

（わたくし、少し疲れていたのかしら……？

かなり眠っていたような気がするけれど、
空を見る限りでは、そんなに時間は経っていない——

そう、確か、下級サキュバスの討伐に行くところだったわ）

パティシエのシエルに会ったこと、彼女がサキュバスだったこと——

ジゼルは何も覚えていなかった。

（その前に　なんだかとっても　甘いお菓子が欲しいわね——）















































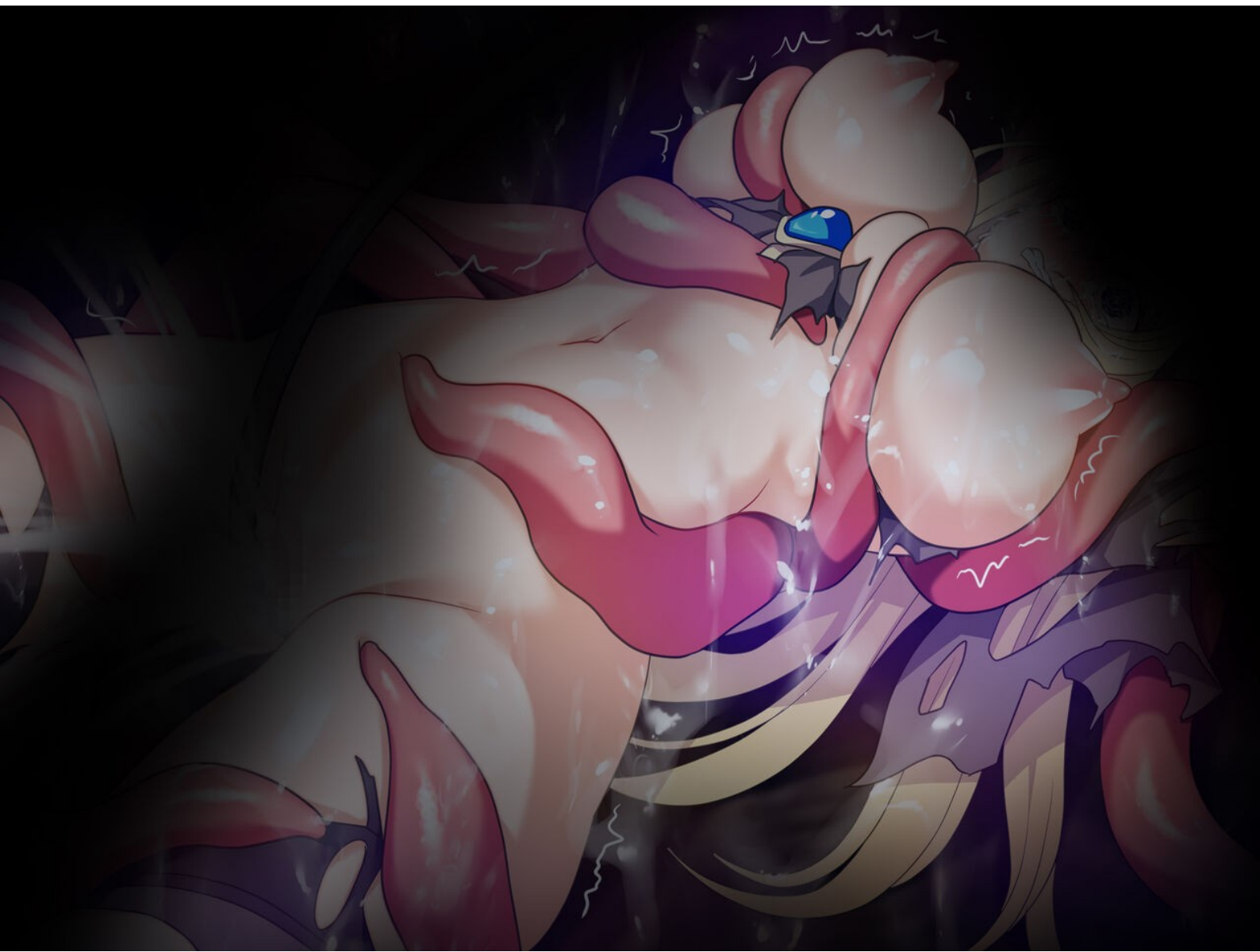












※ ジゼル（聖女） ※



※ シエル（サキュバス） ※

